

中学生の学校内でのスマートフォン利用を規制することの是非

(趣旨)

スマートフォンの利用はさまざまなメリットがある一方、新たな問題をも引き起こしています。

文部科学省では、学校におけるスマートフォン(携帯電話)の取扱いについて、「原則持込み禁止とし、個別の状況に応じてやむを得ない場合は例外的に認める」、または「一定の条件を満たした上で学校等を単位として持込みを認める」とする方針を示しています。

現代社会においてスマートフォンの学校内への持込み・利用を規制することの長所と短所を踏まえて、多角的な観点から、中学生の学校内へのスマートフォンの持込み・利用を規制すべきか、また規制すべきと考える場合にはその効果的な規制について考えてください。

なお、利用する情報源の信頼性に十分に配慮したうえで、必ず「参考にした書籍等」の欄に該当する情報源を記載してください。

総合分析力審査

(受験上の注意)

- 1 この問題冊子は14ページあります。
- 2 試験時間は60分です。
- 3 解答は解答用紙の所定欄に、指示に従って記入してください。
- 4 解答の際には、極端に薄い字や小さい字を書かないでください。

I 以下の問1～問3に答えなさい。

問1 ある教室で男子生徒20人、女子生徒20人にアンケート調査を実施した。その結果、「数学」が得意と答えた人は25人で、そのうち男子生徒は12人いた。「英語」が得意と答えた男子生徒は15人で、そのうち「数学」も得意と答えた人は10人であった。なお、アンケートの回答は、得意か得意でないかの2択である。

- (1) 「数学」も「英語」も得意でない男子生徒は何人いると考えられるか。
- (2) 「数学」も「英語」も得意でないと答えた女子生徒は3人いて、「英語」が得意と答えた女子生徒は「英語」が得意と答えた男子生徒より1人多かった。「数学」が得意で「英語」が得意でない女子生徒は何人いると考えられるか。

問2 桃を1人に12個ずつ配ると11個余り、15個ずつ配ると7個足りない。桃は全部で何個あるか。

問3 ある旅館の宿泊料の定価は1人あたり10,000円であるが、インターネット予約をすると、1泊目は定価の10%引き、2泊目は定価の20%引き、3泊目は定価の25%引き、4泊目以降は定価の30%引きとなる。この旅館にインターネット予約をした場合の宿泊料について、次の各問に答えなさい。なお、税金等は考慮しないものとする。

- (1) この旅館に4連泊する場合、宿泊料の合計は1人あたりいくらか。
- (2) この旅館に7連泊する場合の宿泊料の合計と、2連泊と5連泊に分けた場合の宿泊料の合計では、1人あたりいくら差が出るか。

このページは空白です。

Ⅱ 次の文章を読んで、以下の問1～問4に答えなさい。

Q：「私、仕事で失敗しちゃったの。でも、私より若いA子も同じ失敗をしたのよ。そしたら課長ったら、私だけをすごく叱って、A子には叱らないんです。」

(中略)

1. 原因を帰属させる

何か出来事が起こったとき、なぜそんなことが起こったのだろうと考えてしまうのは、人間の癖のようです。(中略) 部下が仕事で失敗したときには、当の部下だけでなく、その管理責任を負う上司にも、同様にその原因の追究を行うことになります。このとき、どのような原因を考えるかについて、次のような二つの次元から考えてみましょう。

(1) 内部要因と外部要因

最初は、内部要因と外部要因という次元です。これは、ある出来事を当事者(内部要因)のせいにするか、それとも当事者には関係のない要因(外部要因)のせいにするかという次元です。部下が仕事に失敗したときに、もし、「あいつのやる気がないからだ」とか「あいつに能力がないからだ」と上司が考えるとすれば、それは仕事の失敗を部下の内部要因に帰せているといえます。それに対して、「あの仕事は難しいからなあ」とか「運が悪かったんだ」と上司が考えるとすれば、それは外部要因に帰せているということができます。

こう考えると、部下としては、自分の仕事が成功したときには(中略)「自分が有能だから」と考えやすいし、逆に失敗すれば「運がなかったから」と考えやすいものです。

しかし、人間が成功は内部要因、失敗は外部要因と考えやすいことは、ときとして上司と部下との間に^(a)あつれきを生んでしまうこともあります。上司は管理者ですから、部下の成否に対する責任を有しているわけで、部下の成功は自分の管理業務の成功であり、部下の失敗は自分の管理業務の失敗を意味することになります。

すると、部下の成功に対して、上司は「俺の教育の成果だ」と自分の内部要因に帰せやすくなるし、部下の失敗に対しては「あいつが無能だからだ」と自分の外部要因に帰せやすくなってしまいます。逆に、部下のほうは、成功を「自分の能力だ」と思い、失敗は「あの上司の指導が悪い」と思いやすいわけですから、仕事の成否について、ちょうど上司と部下とは、[b] 関係になってしまいがちであるということです。

(中略)

(2) 安定的要因と非安定的要因

さて、原因帰属のもう一つの次元は、その出来事を安定的要因と非安定的要因のどちらに帰せるかというものです。たとえば、仕事の失敗に関して、「あの仕事は難しすぎる」と考える場合と「運が悪かった」と考える場合は、同じ外部要因に帰せているわけですが、実はちょっと異なりま

す。

前者であれば、もう一度、同じ仕事をさせたとしても、やっぱりうまくいかない上司は考えるでしょう。個々人にとってある仕事の難易度は、少なくとも短期的には変わらないので、これは次回も同じ作用を及ぼす安定的要因だからです。ですから、同じ仕事をさせる場合には、目標を下げるとか、上司が付き添って指導するとか、何かの策を上司も考えざるをえないでしょう。それに対して、後者の場合には、上司は具体的な策を考えることもなく、もう一度、同じ仕事を部下にさせるかもしれません。前回運が悪くても、今回は、運がよいかもしれないからです。こちらは、常に同じ作用を及ぼすとは限らない非安定的要因です。

同様に、部下の仕事の失敗を内部要因に帰せる場合にも、「あいつは無能だ」と考えることは、安定的要因に帰せていることになります。能力はそれほど短期間に育成できるものではないからです。それに対して、「あいつはやる気がないんだ」と考える場合には、非安定的要因に帰せていると考えられます。やる気というのは、時として出たり出なかったりするものだからです。

2. 原因帰属と評価

さて、このように二つの次元で考えると、部下の失敗に対して、上司は下の図1のどこかに原因を位置づけることになります。ここで今回の質問にも関係してくるのですが、図1のどこに原因を帰属させるかによって、その部下に対する上司の評価も変わってくるわけです。

図1：部下の失敗の帰属要因

[A]		[B]
能力不足	目標困難	[C] [D]
努力不足	不運	

前述したように、上司が部下の失敗を、その部下の内部要因と外部要因とのどちらに帰せるかということが、直接にその評価にかかわっていることは明らかです。いうまでもなく、部下の失敗は、部下の外部要因ではなく内部要因に帰せられるほうが評価は低くなります。

もう一つ重要なのは、上司がそれを安定的要因と非安定的要因のどちらに帰せるかによっても、評価が変わってくるということです。この点は、ノールトンとミッチェルという人たちによる実証分析の結果が参考になります (Knowlton & Mitchell, 1980)。

彼らは、三人の作業者に対する業績評価を被験者に行わせるという実験を行っています。このとき、三人のうち一人が、①能力が高いから高業績をあげた、②努力していたので高業績をあげた、③能力が不足しているから低業績しかあげられなかった、④努力不足で低業績しかあげられなかった、のどれかに映るように工夫されていました。能力も努力も、作業者の内部要因には変わりあり

ませんが、能力の高低は安定的要因であり、努力するしないは非安定的要因です。

すると、被験者は、評価対象者が同じ高業績の場合には②のほうを①よりも高く評価したのに対して、同じ低業績の場合には、③よりも④を低く評価したことが判明しました。これは、安定的要因よりも、非安定的要因に被験者は敏感に対応して、高業績のときにはより高い評価を、低業績の場合にはより低い評価を行ったということを意味します。

出所：上田泰（2001）『なんでアタシだけ叱るのよ！：会社のフシギな人間行動学』同友館、第3講、pp.22～28より

問1 下線部(a)「あつれき」の意味として最も適切なものを以下の選択肢から1つ選びなさい。

- ① 圧力をかけること
- ② 意見をすり合わせること
- ③ 付和雷同すること
- ④ 過剰に配慮すること
- ⑤ 不和が生じて争うこと

問2 空欄 [b] に入る言葉として最も適切なものを以下の選択肢の中から1つ選びなさい。

- ① 競合する ② 補完し合う ③ 相反する
- ④ 相互依存の ⑤ 責任を持たない

問3 図1の空欄 [A] ～ [D] に入る語句として最も適切なものを以下の語群の中から選び、それぞれの解答欄に記しなさい。なお、5つの語句のうち1つは使用しません。

語群：【安定的要因、 外部要因、 原因帰属、 内部要因、 非安定的要因】

問4 冒頭の会社員の質問Q（同じ仕事上の失敗に対して若手A子は叱られず、先輩である会社員だけが叱られた）に対する回答として適切なものは以下のどれですか。本文の内容と最も合致する回答を1つ選びなさい。

- ① 上司は、A子はたまたま不運だったが、先輩会社員は不運ではなかったと判断したから。
- ② 上司は、A子は努力不足、先輩会社員は能力不足だと判断したから。
- ③ 上司は、A子は能力不足、先輩会社員は努力不足だと判断したから。
- ④ 上司は、仕事が難しすぎたと判断して、先輩会社員に責任を取らせたから。
- ⑤ 上司は、先輩会社員は叱ると奮起するタイプであると判断したから。

このページは空白です。

Ⅲ 次の資料を読んで、以下の問1～問2に答えなさい。

問1 表1は、平成28年および令和3年における日本の小売業の事業所数と従業者数、売場面積（法人）を産業小分類別にあらわしたものである。

表1 小売業の産業小分類別事業所数と従業者数、売場面積（法人）

産業小分類	事業所数		従業者数 (単位：人)		売場面積（法人） (単位：m ²)	
	平成28年	令和3年	平成28年	令和3年	平成28年	令和3年
百貨店、総合スーパー	1,590	1,097	330,992	245,975	17,936,735	11,004,042
男子服小売業	17,419	14,982	83,324	72,080	2,960,425	2,691,169
婦人・子供服小売業	64,013	49,948	322,551	262,096	8,860,879	7,923,710
靴・履物小売業	10,523	8,465	48,953	36,364	943,847	1,232,718
各種食料品小売業	27,442	23,860	1,025,225	1,101,681	22,364,400	24,804,025
野菜・果物小売業	18,397	14,379	84,882	75,418	808,690	763,674
食肉小売業	11,058	9,322	58,530	54,530	322,363	330,493
鮮魚小売業	13,705	10,244	56,326	46,867	334,111	297,073
菓子・パン小売業	61,922	55,447	369,508	355,491	1,655,102	1,647,863
その他の飲食料品小売業	132,479	119,428	1,280,037	1,366,941	9,250,911	12,500,992
自動車小売業	83,887	82,205	565,227	562,399	2,982,778	2,871,247
家具・建具・畳小売業	20,138	16,555	91,251	82,528	5,107,010	4,822,424
じゅう器小売業	15,225	14,730	46,310	54,819	742,967	1,053,353
医薬品・化粧品小売業	89,453	90,343	605,676	656,901	10,363,924	13,062,594
書籍・文房具小売業	34,847	27,627	438,421	345,184	3,773,623	3,394,082
写真機・時計・眼鏡小売業	20,175	18,142	77,848	70,952	1,136,958	1,143,500
他に分類されない小売業	102,095	83,475	562,834	534,320	21,783,675	22,246,019
通信販売・訪問販売小売業	28,009	31,353	241,271	279,150	－	－
自動販売機による小売業	3,740	2,852	35,092	34,067	－	－
その他の無店舗小売業	5,058	8,164	48,620	69,710	－	－

出所：総務省・経済産業省「平成28年経済センサス-活動調査」、「令和3年経済センサス-活動調査」より抜粋して作成。

注：各小分類の売場面積（法人）は、売場面積が得られた事業所の数値を合算したものである。

(1) 表1を説明する文章として正しいものを以下の①～④から2つ選び、それぞれ解答用紙に記入しなさい(解答は順不同)。

- ① 平成28年から令和3年にかけて、20の産業小分類のうち8割以上で事業所数が減少している。
- ② 平成28年から令和3年で事業所の増加件数が最も多い小売業は、「その他の無店舗小売業」である。
- ③ 平成28年から令和3年で1事業所あたりの従業者数が減った小売業には、「写真機・時計・眼鏡小売業」がある。
- ④ 平成28年から令和3年で事業所数が減っているものの、従業者数が増えている小売業には「じゅう器小売業」がある。

(2) 表1を説明する下記の文章の空欄Aにはカッコ内の選択肢から最も適切な言葉を1つ選び、空欄B～Eには当てはまる言葉ないし数字を、それぞれ解答用紙に記入しなさい。ただし、数字は小数点以下を切り捨てた整数で記入すること。

「百貨店、総合スーパー」は、平成28年から令和3年の事業所数の減少率が20の産業小分類のうち最も A：(大きい・小さい) 小売業である。この小売業では事業所数だけでなく、従業者数や売場面積も平成28年から令和3年で小さくなっている。令和3年における売場面積は平成28年の B % になっており、その大きさは平成28年では「百貨店、総合スーパー」よりも売場面積が小さかった小売業、たとえばコンビニエンスストアや料理品小売業などが含まれる「 C 小売業」と、ドラッグストアなどが含まれる「 D 小売業」よりも小さくなっている。

「 C 小売業」は、平成28年および令和3年において、事業所数と従業者数が20の産業小分類のなかで最も大きい小売業である。しかし、事業所数に関しては減少傾向にある。

「 D 小売業」は、令和3年における従業者数と売場面積が20の産業小分類のなかで3番目に大きい小売業である。売場面積に関しては、平成28年から令和3年で E % も大きくなっている。

問2 表2は、平成27年および令和2年の小売計における年間商品販売額（法人）を商品販売形態別にあらわしたものである。表2を説明する文章として誤っているものを以下の①～④から1つ選び、解答用紙に記入しなさい。

表2 小売計における商品販売形態別年間商品販売額（法人）

商品販売形態	年間商品販売額（単位：億円）	
	平成27年	令和2年
小売計	1,293,047	1,319,908
店頭販売	1,115,342	1,117,857
訪問販売	55,397	48,264
通信・カタログ販売	32,825	41,144
インターネット販売	34,092	59,252
自動販売機による販売	9,403	11,905
その他	45,988	41,487

出所：総務省・経済産業省「平成28年経済センサス-活動調査」、「令和3年経済センサス-活動調査」より抜粋して作成。

- ① 小売計に占める「自動販売機による販売」の年間商品販売額の割合は、平成27年・令和2年とも1%を切っている。
- ② 小売計に占める「店頭販売」の年間商品販売額の割合は、平成27年・令和2年とも8割を超えている。
- ③ 「通信・カタログ販売」と「インターネット販売」の販売額の差は、平成27年から令和2年の間に15倍以上に拡大している。
- ④ 令和2年の「インターネット販売」の年間商品販売額は、平成27年から70%以上増加している。

このページは空白です。

Ⅳ 次の英文を読んで、以下の問1～問7に答えなさい。

この問題は、著作権の関係により掲載できません。

この問題は、著作権の関係により掲載できません。

注： 1) plagiarism 盗用

2) K-12 米国の学校制度において幼稚園年長から高校卒業までの期間のこと

3) sci-fi science fiction

4) influx 多量に出現すること

5) flawless 完璧な

6) reverse engineer 分析し検討する

7) TI85 計算機の名称

出 所：Abreanna Blose, "As ChatGPT Enters the Classroom, Teachers Weigh Pros and Cons,"
National Education Association. Published: April 12, 2023 <<https://www.nea.org/nea-today>>
(一部抜粋)

問1 本文の (1) (2) に入る最も適切な語句をそれぞれ1つ選びなさい。

(1) ① On the other ② Another ③ At the same time ④ Although

(2) ① Eventually ② Otherwise ③ Similarly ④ Contrary

問2 下線部(a)～(c)の単語について、本文の前後の意味から推測し、その意味に最も近いものを1つ選びなさい。

(a) integrity

- ① institution ② honesty ③ corruption ④ level

(b) formulaic

- ① unoriginal ② complex ③ creative ④ formal

(c) revamping

- ① maintaining ② preserving ③ modifying ④ separating

問3 Kim Lepreにとって、ChatGPTを利用する中で最も有益に感じている事は何ですか。以下の①～④から1つ選びなさい。

- ① making quizzes for students
② communicating with parents through emails
③ saving time to do some other tasks
④ spending more time with students

問4 ChatGPTの問題点として本文に言及されていないものはどれですか。以下の①～④から1つ選びなさい。

- ① It can produce wrong information.
② Its responses are sometimes prejudiced.
③ It may cause security issues.
④ The information given may not be timely.

問5 [E] 段落にある下線部の*is*が斜体になっている意味を書き替えるとすれば、どれが最もふさわしい文章になりますか。以下の①～④から1つ選びなさい。

- ① Since ChatGPT might be the future,
② In case ChatGPT is indeed the future,
③ Unless ChatGPT is the future,
④ Suppose ChatGPT is likely the future,

問6 [H] 段落にある下線部のcalculatorに対する筆者の考えに最も近いものはどれですか。以下の①～④から1つ選びなさい。

- ① a very convenient tool to use in classrooms
- ② a tool that shouldn't be used in classrooms
- ③ high-tech tool to be introduced in classrooms
- ④ a tool that can be misused in classrooms

問7 本文に書かれている内容として正しいものを、以下の①～⑥から2つ選びなさい（解答は順不同）。

- ① About fifty percent of teachers think ChatGPT will help their jobs.
- ② If used properly, ChatGPT can offer innovative and imaginative alternatives to traditional assignments in classrooms.
- ③ The company that created ChatGPT recommend the use of AI-generated information for academic source.
- ④ Many school districts in the USA are encouraging the use of ChatGPT for better classroom instructions.
- ⑤ It is not easy to identify students' essays generated by AI.
- ⑥ One of the ideas to use ChatGPT in classrooms is to have students discuss the differences of written works by AI and students.

2025 年度 経営学部 AO マルデス入試 解答

第Ⅰ問

問1

- (1) 3人
- (2) 1人

問2 83個

問3

- (1) 31,500円
- (2) 3,000円

第Ⅱ問

問1 ⑤

問2 ③

問3 [A] 内部要因 [B] 外部要因 [C] 安定的要因 [D] 非安定的要因

問4 ③

第Ⅲ問

問1

- (1) ①・④

- (2) [A] 大きい [B] 61 [C] そのほかの飲食料品 [D] 医薬品・化粧品 [E] 26

問2 ③

第Ⅳ問

問1

- (1) ① (2) ③

問2

- (a) ② (b) ① (c) ③

問3 ④

問4 ③

問5 ②

問6 ④

問7 ②・⑥